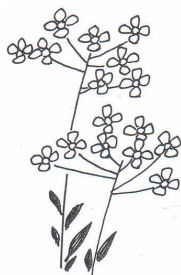


## 仏事の知識 守り刀

人が亡くなると遺体の枕元あるいは布団の上に鎌、剃刀、刀等の刃物を置く風習がある。昔、武士の死者は、その枕元に刀を置き魔除けとしたといわれる。また、遺体の死臭でやってくる悪鬼を防ぐ為や、死者の霊が悪霊や魔物に取りつかれないで、淨らかなお身体で旅立ちを迎えることができるようにとの願いが込められた作法である。

また、湯灌、納棺をする人は、荒縄で身体を縛り付けて行動する。これは死者の霊が自分の身体に入り込まないようにする、しめ縄と同じ意味がある。お線香をたくさん焚いて部屋中を香で満たすのも同じこと。守り刀、荒縄、お香は死者を守り自分をも守る、昔から行われてきた葬送儀礼である。



## 永平寺だより

永平三世徹通禪師七百回御遠忌法要

奉修期間 平成二十年四月十六日～二十一日  
御正当法要 四月二十一日

長男 孝純(呼び名・全堤)は丸二年を過ぎて、現在「直歳寮しつすいりょう」(堂宇の修繕、火防点検、永平寺山の管理等の重要な配役をいただいています。役名は「直録補じきろくほ」で、色袈裟を着用できるまでになりました。

次男 秀孝は上山して間もなく三ヶ月、大庫院(だいくいん・修行僧の食事を作るところ)に配役となり精進料理の修行中です。

秀孝上山の写真(二月八日)雪の永平寺



## 大般若法要にお参りください!

期日 6月20日(水) 時間 午前10時30分法要開始  
内容 祈禱大般若 檀信徒先祖供養 法話 おとき  
持参品 祈禱料はお志しをお願いします。輪袈裟、数珠持参ください。  
\*10時まで受付をお済ませください。 \*祖飯(昼食)の用意があります。  
\*別紙ご案内をご覧ください。